



2020年9月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

■ 休診日
 ■ 午後休診
 ■ 18時最終受付

診療時間

午前9時半～午後1時、午後3時半～午後7時

1. 心臓に関する疾患

2. 内科・糖尿病の治療

3. 睡眠時無呼吸症

4. 土曜日も診療

5. オンライン診療



ホームページ



予約して受診してね



「今月の言葉」

いかにいい仕事をしたかよりも
どれだけ心を含めたかです
(マザー・テレサ)



<お知らせ>

- ・必ず予約して受診してください！
- ・WEB問診への記入をお願いします。詳しくはこちら↓
- ・<発熱・感染外来>は時間を変更しました
下記の時間に予約をして受診してください。
12:00～13:00、15:30～16:00
- ・新型コロナウイルスの唾液のPCR検査を行っております。WEBから予約可能です。
- ・インフルエンザワクチンは10月から開始予定です。



弦楽四重奏曲にも「ラズモフスキー1番」「ハーブ」など名前がついているものもありますが、これらを知っている人はかなりのクラシック愛好家です。自分も大学オーケストラに入ったときに先輩が「ラズ3(ラズモフスキー3番 弦楽四重奏曲9番のこと)の4楽章を聞いてから学校行くと元気出るよね」という会話を聞いて(なんてマニアックな世界なのだろう!)と感心したのですが、その数年後には「アルバン・ベルグ・カルテットのラズ3の4楽章は6分を切っている!」だの「エマーソンカルテットはもっと速い!」だの会話をしているのですから、オタクを通り越してほとんど病気です。

さて、ベートーヴェンは30歳ころに弦楽四重奏曲第1番を作曲してから最晩年には5曲の弦楽四重奏曲を残しています。この5曲は交響曲やピアノソナタの最後の曲を作曲した後に作曲されており、まさに彼にとっての最晩年の境地、魂の結晶といえるものです。なかでも第14番は40分ほどもある7楽章が切れ目なく演奏され、ほとんど現代音楽といってもいいくらい難解な作品となっています。実は私は大学生の時に友人と最高傑作と言われることもある15番を演奏したことがあります。この曲の第3楽章は「リディア旋法による、病から癒えた者の神への聖なる感謝の歌」と名付けられた感動的な楽章で、皆様にも一度是非聴いていただきたい名曲です。この曲は大学の解剖実習の終了後に行われた慰霊祭で流されており、その選曲のセンスの良さに唸ったものです。

ベートーヴェンといえば、音楽室の壁に掛かっている気難しいような顔を思い浮かべますが、本当にそんな気難しい人だったのでしょうか？ 私が高校生くらいのこと「モーツァルトは子守唄を歌わない」という森雅裕さんの本を読んだことがあります。これはベートーヴェンと弟子のチェルニーがモーツァルトの死の謎を解くという軽いタッチの推理小説でそこでのベートーヴェンはなんともお茶目なおじさんに描かれていました。

弦楽四重奏曲16番は死の直前に書かれた最後のカルテットですが、その4楽章には「Muß es sein? Es muß sein!」(かくあらねばならぬか? かくあらねばならぬ!)という言葉が添えてあります。この言葉は哲学的な意味という説とお金のやり取りを記したものであるという説があります。気難しいような顔からは哲学的な意味と考えてしまいますが、私は必ずしもそうではないと思っています。というのも彼の人生の最後にたどりついたこの4楽章は意外にも鳥のさえずりを思わせるようなのかな曲だったので。 文責 齋藤 幹

さいとう内科・循環器クリニック @237gsvtx
LINE公式アカウント



ベートーヴェン生誕250年

ベートーヴェンは1770年12月にドイツのボンで生まれましたので、今年は生誕250周年となります。本来であれば今年は世界中でベートーヴェンの作品が演奏される予定となっておりますが、新型コロナウイルスの影響でこの大作作曲家の記念イヤーとしては寂しいものとなってしまいました。日本では恒例となっている年末の「第九」の演奏会もこのままでは難しいかもしれません。

ところでベートーヴェンといっても多くの方がよく耳にするのは「運命」「月光」「第九」「エリーゼのために」あたりの限られた作品が多いように思いますが、もちろんベートーヴェンの真髄はこれらのメジャーな作品だけでは十分とは言えません。ベートーヴェンの真の傑作といえば、交響曲以外では32曲のピアノソナタ、そして16曲の弦楽四重奏曲といえるでしょう。バッハの平均律クラヴィア曲集が旧約聖書と呼ばれる一方、ベートーヴェンのピアノソナタは新約聖書と呼ばれることもある音楽史上の至宝です。ピアノソナタは「悲愴」や「月光」など題名がついたものも多く、それなりに一般にも知られていますが、一方の弦楽四重奏曲はあまり知られてはいないのではないのでしょうか？

住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8

メディカルプライム日本橋小伝馬町3階

TEL: 03-3639-3110 FAX: 03-3639-3112